

JAさがみGAP 「良い農場」点検項目シート（全作物共通）



GAPは、Good（良い）Agricultural（農業の）Practice（実践）の頭文字をとってGAP（ギャップ）と読みます。
より安全な労働環境、より安全な農産物づくりを目指して、改善点を見つけて改善していきましょう。

組織名

栽培品目（施設・露地）

点検日 / / ()

氏名

※確認欄 ○：実践できている、×：改善の必要がある、－：該当なし

No.	工程	作業	点検項目	確認欄	改善点・取組み内容
1	農 場 管 理	確認改善	①栽培計画を立てている。 ②1作(1年)ごとに自己点検を行ったことを記録し、保存している。 ③点検の結果、改善すべき項目を把握し、改善している。		
2		ほ場安全・管理	ほ場やその周辺環境において農産物に悪影響を及ぼす要因(従前用途、土壌汚染、水質汚染など)がないか確認し、適正な衛生管理を実施している。		
3		水質保全	栽培に使用する水は、水源(農業用水、地下水、水道、その他)が明らかな水を使用している。		
4		環境保全	使用する農薬、肥料、燃油などの保管・使用・器具の洗浄時に河川や地下水に漏れ出るなどして周辺環境を汚染することがないように対策している。また、汚染が分かった場合には用途に見合った改善策を実施している。		
5		有害鳥獣	鳥獣を引き寄せない取組み等(電気柵の設置など)、鳥獣による農業被害を防止する管理を行っている。		
6		農場管理	衛生管理、機械操作、土づくり、農薬、栽培に関して、資料を収集したり研修を受講し、さらに家族や従業員に教育・指導を行っている。		
7			①資材や道具は野ざらしにせず、適切な場所で保管している。 ②資材や道具の配置は、清潔で整然としており、安全に出入りでき、取扱いしやすい状態となっている。		
8		省エネ	ハウスの加温や穀類の乾燥等に必要な施設・機械等は、適正な規格のものを導入し定期的に点検、補修、修繕を行っている。また、効率的な運転でエネルギーの節約に努めている。		
9		土 壤	定期的な土壌診断を実施し、土壌診断の結果等や施肥基準を参考にした施肥を行っている。		
10			有機物(堆肥・緑肥等)の施用等による土づくりに取り組んでいる。		

※確認欄 ○:実践できている、×:改善の必要がある、-:該当なし

No.	工程	作業	点検項目	確認欄	改善点・取組み内容	
11	農場管理	土壌	使用する堆肥は、外来雑草種子の混入や病原微生物による汚染を防ぐため、適切に堆肥化されたものを使用している。			
12			土壌の侵食・流出を軽減する対策(被覆植物の栽培など)を行っている。			
13	理	知的財産	自らが開発した技術・ノウハウ(知的財産)を保護・活用している。			
14	栽培・収穫工程	労働安全	機械導入時は、検査合格証票や取扱説明書の有無を確認し保管している。			
15			運搬車両、作業機械、作業用具の安全装備の確認、部品の定期交換、使用前点検、使用後の整備等適切に管理し、取扱説明書を熟読した上で適正使用をしている。			
16			農作業の危険な場所や危険な作業を認識し、事故やケガがないような作業の仕方を考えて改善している。また、作業者全員と話し合いをしている。			
17			機械は、雨ざらしにせず、屋根のある建物か、被覆をして出入りに危険のない場所で保管する。保管時は、昇降部の下降、鍵の管理をしっかりと行う。			
18			機械作業や高所作業、農薬散布作業など危険を伴う作業は、熟練者が作業方法や、安全な操作、適切な管理の指導を行い、一人で作業させないなど配慮している。			
19			安全に作業を行うため、作業に適した服装を心がけている。農薬散布や機械作業時は、防護具(防護服、メガネ、マスク、靴)やヘルメット等を着用し、適切に保管している。			
20			①事故に備え、農業労災等の保険(共済)に加入している。 ②作業場近くに救急箱があり、いざというときの緊急連絡先一覧がある。			
21			定期的に健康診断を受けるとともに、適切な労働時間、休憩時間を決めて、健康状態やその日の気象条件によっては作業を変更するなど、事故防止に努めている。			
22			種苗	遺伝子組み換え作物の確認、登録品種を無断で増殖しないなど、種苗を適切に扱っている。		
23				種苗の袋や農薬使用履歴等を保管し、品種名、ロット番号及び種苗に使用した農薬の成分名・使用回数等を確認・記録している。		
24	適正使用	対象作物に登録のある農薬を、使用の都度ラベルを確認し、使用基準どおり使用している。確認内容は、①使用できる農作物 ②使用量 ③希釈倍率 ④時期(収穫前日数) ⑤使用回数 ⑥有効期限 ⑦使用上の注意等。				

No.	工程	作業	点検項目	確認欄	改善点・取組み内容
25	栽培	適正使用	農薬は、過不足がないよう散布する面積に対し必要な量を調製している。		
26			無登録農薬や無登録農薬の疑いのある資材は使用していない。		
27			防除器具は、農薬使用前の点検、農薬使用後の十分な洗浄を行っている。また、年に1回以上、破損等がないか点検し正常に散布できるか確認を行っている。		
28		飛散防止	粒剤等の飛散しにくい農薬の使用、飛散低減ノズルの使用、風の弱い時間帯に農薬散布を行うなど、農薬飛散低減対策を行っている。		
29			住宅地等に近接した農地で農薬を散布するときは、散布前に周辺住民に周知するなど安全に配慮している。		
30			農薬散布時は事前に、近隣の生産者と互いに農薬使用の目的や散布日時、使う農薬の成分等について情報交換している。		
31	収穫	適正防除	ほ場の観察や発生予察情報等により病害虫の発生状況を確認し、防除回数の削減に努めている。		
32			ほ場衛生の徹底、輪作体系や抵抗性品種の導入、マルチ栽培、ローテーション防除など病害虫・雑草が発生しにくい環境づくりを行っている。		
33			農薬と他の防除手段(対抗植物、被覆・マルチ栽培・機械除草など)を組み合わせた防除で農薬散布回数を減らす工夫をしている。		
34	工程	保管管理	農薬は、農薬保管庫内にカギをかけて保管している。		
35			「毒物」、「劇物」に該当する農薬は、在庫が確認できるよう、それぞれ分けて保管し、保管庫に「毒物」、「劇物」の表示をしている。		
36			農薬は別の容器へ移し替えることなく、購入時の容器で保管している。また、倒れてしまった時にこぼれでないようにトレーを敷くなどして保管している。		
37			農薬は定期的に在庫のチェックを行い、最終有効期限を過ぎた農薬や使用禁止農薬は使用しないよう適切に保管し、処分している。		
38			燃料(ガソリン、軽油等)は、火気がなく関係者以外がみだりに立入らない場所で、もれないように金属容器など安全な容器で保管されている。また、燃料のそばで機械・工具を使用していない。		

※確認欄 ○:実践できている、×:改善の必要がある、-:該当なし

No.	工程	作業	点検項目	確認欄	改善点・取組み内容
39	栽培	適正処理	作物残さは堆肥化したり、ほ場に還元するなど適正処理している。		
40			廃ビニール、廃プラスチック、農薬空容器などはJAの回収などにより適正廃棄をしている。廃棄までの間、ほ場や施設を汚染しないように保管している。		
41	収穫工程	記録	ほ場の位置、面積等に係る記録を作成し、保存している。		
42			農薬や肥料を使用したときは、生産履歴記帳用紙(栽培日誌)に記帳し、取引先からの情報提供の求めに対応できるよう保存している。		
43			収穫・出荷するときは、収穫日・出荷日・出荷量・残留農薬検査結果等に関する記録を3年間、保管している。		
44			肥料、土壌改良材、農薬、種苗、資材などの購入伝票を3年間、保管している。		
45	調整・出荷工程	衛生管理	トラクター等の農機具や生産・収穫・調整・運搬に使用する器具類等は、衛生的な保管、取扱、洗浄を実施している。		
46			作業場やほ場から通える範囲にトイレが確保されている。また、作業前やトイレの後には手洗いを励行し、農産物への病原菌の付着を防止している。		
47			作業者の健康状態を確認し、ケガや、感染症の疑いがある場合には農産物に直接接触する作業は行っていない。		
48			異物混入の防止策を施している。①収穫器具(包丁・ハサミ等)の数量確認 ②喫煙・飲食の場所・時間のルール③帽子・マスク・清潔な作業着の着用等		
49			出荷・調製施設は、害虫や動物の侵入防止策が施されている。また、水はけがよく、清掃がしやすい適正な明るさの照明を設置するなど、衛生管理ができる適切な環境であり、定期的に清掃・点検を行っている。		
50			出荷資材は安全性が確認できる清潔なものを使用し適切に保管する。貯蔵・輸送の際は適切な温度管理を行っている。		
備考欄(全体を通して改善した点、今後の改善点を明確にしましょう)				確認者	確認事項
					確認日: 年 月 日 年間実施回数 回(うち 回目)